

ハスノハイチゴ

Rubus peltatus Maxim.
バラ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧 旧：要注目

【環境省カテゴリー】準絶滅危惧

選定理由

分布上北限で、生育地、個体数とも少ない。

分 布

本州（長野・愛知・福井以西）、四国、九州に分布する。県内では奥越地方で確認される。

種の特徴

小型の落葉低木。茎は葉の出るところでジグザグに曲がり、所々に刺がある。葉は卵円形。葉の1/3の位置に葉柄がつく。葉は浅裂する。葉の表面は無毛で、裏面は脈上に毛があり、刺を散生する。葉柄にも刺が散生する。6月頃に白い花を咲かせ、果実は長楕円形で白く熟す。

生育を脅かす要因

産地局限、森林伐採、自然遷移が生育を脅かす。

参考文献 奥原弘人ほか（1969）、福井県植物研究会（1999）、福井県樹木誌（2011）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
															○	○	

カライトソウ

Sanguisorba hakusanensis Makino
バラ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

本県を分布限界とし、生育地、個体数とも限定される。

分 布

本州中部の日本海側に分布する。県内では敦賀市、南越前町、永平寺町、坂井市、池田町、勝山市、大野市で確認される。

種の特徴

山地の草原に生える多年生草本。茎は高さ40～80cmで、少数の葉をつける。葉は奇数羽状複葉。小葉は長さ4～6cmの楕円形、縁に鋭鋸歯。穂状花序は長さ約10cm、先が垂れ下がり、先から咲き始める。花には花弁がない。

生育を脅かす要因

登山者の踏みつけ、マニアの園芸採取、自然遷移が生育を脅かす。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982b）、福井県植物研究会（1997）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
						○		○	○	○	○				○	○	

カラハナソウ

Humulus lupulus L. var. *cordifolius* (Miq.) Maxim. ex Franch. et Sav.
アサ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧 旧：県域準絶滅危惧

【環境省カテゴリー】—

選定理由

生育環境が開発の影響を受けやすいところであるため、生育地、個体数ともに減少しているため、準絶滅危惧とした。

分 布

北海道、本州（中部以北）に分布する。県内では越前市、南越前町、池田町、大野市で確認されている。

種の特徴

山地に生える多年生のつる草で、茎には下向きの刺がある。葉は卵円形、基部は心形で先がとがり、縁にはあらい鋸歯がある。花期は8～9月。そう果は長さ2.5～3m、表面には苦味を含む黄色の小腺点が多い。

生育を脅かす要因

道路工事、森林伐採。

参考文献 福井県植物研究会（1998）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
								○	○			○				○	